

「前はほとんど意識がなかったから気付かなかったけどグリーガーになるのがこんなに気持ちいいなんれ♡ケツうまっ♡」

「ヒメ♡ご主人様のグリーガー♡
ひんぽ最高らよ♡」

(ぐっ)
油断した…
なんとか隙をみて…)

「ひよっとして姫様この状況でも私たちを浄化して助けようとか考えてる？
っ♡余計なお世話だから♡」

「それにすぐに姫様も分かると思うよ♡
ご主人様の牝奴隷型グリーガーになる素晴らしさがね♡」



抵抗しれすいませんれしたあ♡
グリーガーになるの
しゅごい♡好き♡しゅき♡

ほっ♡はい
だしてくらはい♡
ちんぼ汁♡おちんぼ様の
ザー汁♡
イクイクイグ♡

おっ…♡ほっ♡
んへ♡この身体
しゃいこう♡

ご主人様
すき♡





アタシ達は、この方の
グリーガーだ♡

ん♡

うっきま♡

すまない兄弟♡
もう戻れない♡
ううん♡
戻りたくない♡

ん♡

うら♡